

3

中学生の中西さんは、国語の授業で「気になる日本語」をテーマに、身近な言葉の中から疑問に感じたことや興味をもったことについて調べる学習に取り組みました。次は、中西さんが作成したレポートの一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

No. 1

「全然」について

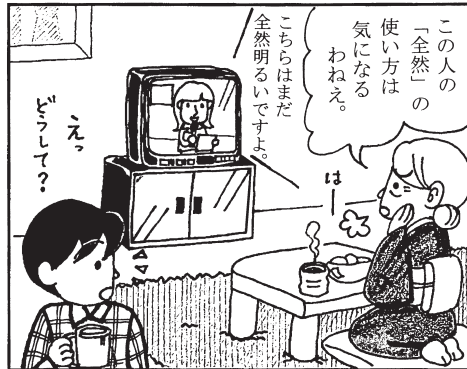
氏名 中西 健 一

1 「全然」を取り上げた理由

先日、テレビ番組で若いレポーターが「こちらはまだ全然明るいですよ。」と話していた。それを聞いていた祖母が、「この人の『全然』の使い方は気になるわねえ。」と言っていた。

確かに授業では、「全然」は、「全然～ない」のように、後ろに特別な言い方を伴う副詞として、「もし～なら」、「まるで～ようだ」と一緒に学習した。

しかし、私自身も「全然明るい」という使い方をすることがあるので、この言葉を取り上げて、調べてみようと思った。



2 調査方法

- ①「全然」の意味を、学校図書館にある国語辞典で調べた。
- ②「全然」の使い方に関連する情報を、インターネットや市の図書館の資料で調べた。

3 調査結果と考察

(1) 国語辞典

学校図書館にあった2冊の国語辞典で「全然」を引いた。どのように説明されているか整理してみると、次の2種類の使い方に分けることができた。

一つめは、打ち消しや否定的な意味の語を伴う使い方であり、二つめは、くだけた言い方で、肯定的な意味で強調する使い方である。

先日のテレビの若いレポーターは、二つめの意味の使い方をしていることになる。

国語辞典A

ぜんぜん【全然】
 〔副〕全面的に否定する意味を表す。全く。少しも。
 ▼あとに打ち消しや否定的表現を伴って用いる。俗に、否定表現を伴わず「非常に」、「とても」の意で用いられることがある。「全然平気。」

国語辞典B

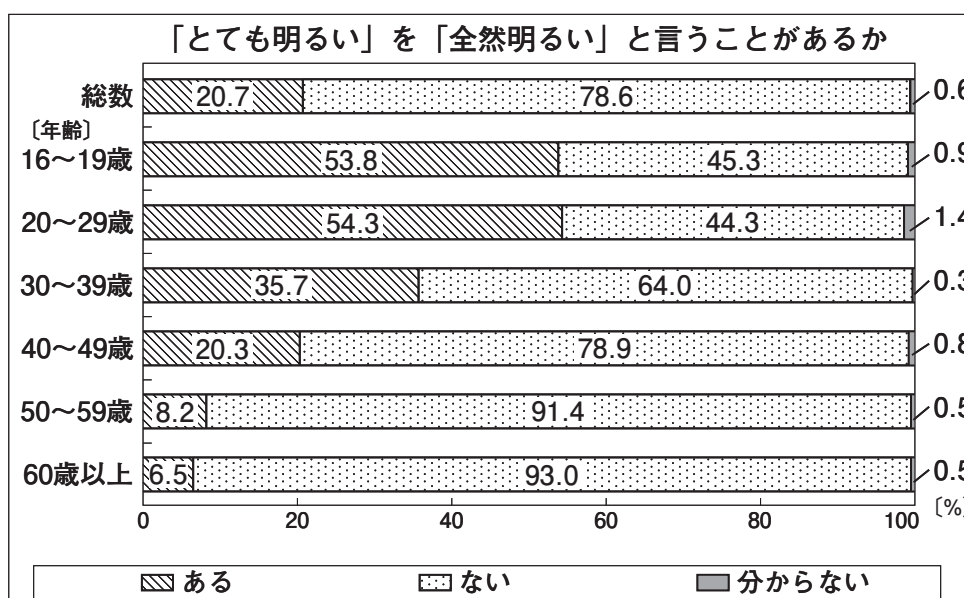
ぜんぜん【全然】
 〔副〕（あとに打ち消しの言葉がくる）まったく。まるで。**【例】**味が全然わからない。
【参考】くだけた言い方で、「全然おもしろい。」などと強調の意味で使われることもある。

(2) 国語に関する世論調査

インターネットで検索した結果、文化庁の「平成 15 年度 国語に関する世論調査」に「全然」の使い方に関するアンケートがあることが分かった。

そこで、市の図書館へ行き、「国語に関する世論調査」についての報告書を探した。「全然」に関する調査結果は、日常会話の中でそのような言い方をするかどうかを尋ねた項目の中にあった。

次のグラフは、「全然」の使い方に関するアンケートの結果である。



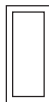
(文化庁「平成 15 年度 国語に関する世論調査」による。)

〈このグラフから分かること〉

4 まとめ

一 中西さんが作成したレポートについての説明として最も適切なものを、次の1から4の中から一つ選びなさい。

- 1 「全然」という言葉について、いろいろな使い方を調査するために、インタビューを実施している。
- 2 「全然」という言葉について、文化庁のアンケートの結果から言えることだけを取り上げている。
- 3 「全然」という言葉について、図書館にあった国語辞典や報告書など複数の資料で調べている。
- 4 「全然」という言葉について、否定的な意味の語を伴う言い方の実例を集めて表に整理している。

二 レポートの中の〈このグラフから分かること〉() には、文化庁が行った「国語に関する世論調査」のグラフから分かることを入れようと思います。〈このグラフから分かること〉に当てはまる文章として最も適切なものを、次の1から4の中から一つ選びなさい。

- 1 十六歳以上二十九歳以下の人の半数以上が、「全然明るい」と言うことがあるのに対して、五十歳以上の人では一割未満にとどまっている。このことから、「全然明るい」と言うかどうかは、世代によって大きな違いがあることが分かる。
- 2 若い世代では、大多数の人が「全然明るい」という表現を使っているが、年齢が高くなるほど「全然明るい」と言う回数が少し減っている。このことから、「全然明るい」と言うかどうかは、世代によって大きな違いがあることが分かる。
- 3 調査対象となった人のうち、八割近い人が「全然明るい」とは言わないのに対して、二割を超える人たちは、「全然明るい」と言っている。このことから、「全然明るい」と言うかどうかは、世代によって大きな違いがあることが分かる。
- 4 ほとんどの人は、若いときには「全然明るい」という表現を使っても、年齢が高くなるにつれて「全然明るい」とは言わなくなっている。このことから、「全然明るい」と言うかどうかは、世代によって大きな違いがあることが分かる。

